

I 事業報告

1 事業の成果

令和元年度は、世田谷区駒沢地区を主な活動場所として、環境学習・教育事業、環境保全に関する普及啓発事業、情報収集及び情報提供事業を行った。また、前年に引き続き大阪市住之江区における活動も行った。

定例講演会は第 172 回（年度中 8 回）を迎えた。

【環境学習・教育事業】

「子ども環境カレッジ」と題し、小中学生を対象として、例年と同様に GE カレッジホールを利用した「夏休み☆環境＋生きもの体験」を実施したのに加え、大阪市住之江区のいであ(株)大阪支社ホール等でも「身近な生きもの探検隊」を開催し、身近な環境や生物について体験し考える環境教育を行った。

また、一般市民を対象とした定例講演会を、世田谷区駒沢地区において 5 回、大阪市住之江区で 2 回、広島市で 1 回開催した。なお、これらの講演会はテレビ会議システムを利用し、全国 10 か所でも聴講できる形式で開催している。

【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、平成 30(2018)年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2019」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

さらに、環境エネルギー・ラボ実行委員会と世田谷区が主催した「環境エネルギー・ラボ 2019 in せたがや」のワークショップに「発電風車の製作と環境アセス体験」として、ペットボトルでの風車づくりと風力発電所の立地について考えるプログラムで参加した。

また、いであ(株)と連携し、防災・減災学習用教材「ぼうさいキング」の普及活動を行い、販売を担当した。

【情報収集及び情報提供事業】

東北地方および中部地方を中心として、前年度に続き、淡水魚及びその生息地の保護に関する活動（生息地の状態の把握の調査、行動特性に関する研究、個体の生息域外での保護、湧水生態系研究会への参加等）を行った。

また、近年顕著な気候変動が漁業に及ぼす影響が懸念されることから、沿岸生態系への影響と沿岸漁業の視点からの適応策を検討する研究会を運営し、学識者との意見交換も含め 3 年間の検討内容を取りまとめた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
環境学習・教育事業	「子ども環境カレッジ」 環境と生物に関する室内セミナー等	7月27日(土) (13:00~17:00)	世田谷区 駒沢	31人	小学生・幼児, 保護者 (58, 41人)	100
		7月6日(土) (9:00~12:00)	大阪市住之江区	20人	小学生・幼児, 保護者 (37人, 30人)	84
	環境保全に関する講演会、 セミナー、 シンポジウム等	5月27日(月) 6月7日(金) 6月24日(月) 9月30日(月) 10月8日(火) 11月1日(金) 11月28日(木) 12月19日(木) (原則 17:00~18:30)	5,11月 大阪市 6,9,10,12月 世田谷区 駒沢 11月 広島市	5人 /1回	一般市民 (※事務局・社員・外部の総数) 238人 239人 231人 116人 204人 160人 199人 153人	733
	自然観察会等への支援	6月8日(土)	横浜市都筑区	1人	小学生・保護者 21人	0
環境保全に関する普及啓発事業	ホームページの運営	4月~3月	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (不特定多数)	28
	活動報告書の作成	8月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数 1,600)	422
	防災・減災学習教材の制作・販売・提供	4月~3月	世田谷区 駒沢	2人	一般市民 (不特定多数)	0
	「東京湾シンポジウム」ポスター展出展	10月	横浜市西区他	2人	一般市民 (200人程度)	0
	「環境エネルギー・ラボ 2019 in せたがや」参加	10月14日 (月・祝) (15:00~17:00)	世田谷区 二子玉川	8人	小学生 (29人)	36
情報収集及び情報提供事業	淡水魚の保護に関する活動	4月~3月	岩手県大槌町 岐阜県大垣市 三重県菰野町 ほか	2人	一般市民 (不特定多数)	1,811
	気候変動適応策研究会	5月~3月	横浜市都筑区 京都市	5人	会員 10名	254

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲および予定人数	支出(千円)
	実施せず					

NPO 法人 地球環境カレッジ 令和元年度開催事業一覧

日 時	事 業	備 考
5 月 27 日(月)	●第 165 回 (令和元年第 1 回) 定例講演会 「コンクリート構造物の維持管理技術の現状と将来 ～劣化診断技術を中心として～」	鎌田 敏郎先生 (大阪大学大学院工学研究科地球総合 工学専攻教授)
6 月 7 日(金)	●第 166 回 (令和元年度第 2 回) 定例講演会 「都市浸水対策の高度化への試み」	波尾 欣弘先生 (東京大学大学院工学系研究科都市工 学専攻特任准教授)
8 日(土)	◎身近な自然観察会協力支援	小学校保護者協力
13 日(木)	※令和元年度 (第 16 回) 通常総会	
24 日(月)	●第 167 回 (令和元年度第 3 回) 定例講演会 「環境 DNA 技術の現在と今後の展望: 高度生態情報 社会の実現に向けて」	近藤 倫生先生 (東北大学大学院生命科学研究所生態 発生適応科学専攻教授)
7 月 6 日(土)	○子ども環境カレッジ 「身近な生きもの探検隊」	いであ(株)大阪支社ホール 67 名参加 (小人 37, 大人 30)
27 日(土)	○子ども環境カレッジ 「夏休み☆環境+生きもの体験」	GEC ホール 99 名参加 (小人 58, 大人 41)
9 月 30 日(月)	●第 168 回 (令和元年度第 4 回) 定例講演会 「稀少肺疾患研究の光と影 - 病因解明から医師主導 治験に至るいばらの道」	中田 光先生 (新潟大学医歯学総合病院 輸血再 生細胞治療センター/臨床研究推進セ ンター/遺伝医療支援センター 部長・ 教授)
10 月 8 日(火)	●第 169 回 (令和元年度第 5 回) 定例講演会 「水環境の現状と課題」	岡田 光正先生 (放送大学 理事・副学長/広島大学 名誉教授)
14 日(祝)	◇環境エネルギー・ラボ 2019 in せたがや ワークシ ョッププログラム実施	東京都市大学二子玉川夢キャンパス 小学生 29 名参加
17(木)	◇東京湾シンポジウム ポスター展出版	
11 月 1 日(金)	●第 170 回 (令和元年度第 6 回) 定例講演会 「冬期道路管理の高度化」 - ロードヒーティングと 道路気象予測 -	福原 輝幸先生 (広島工業大学工学部環境土木工学科 教授)
28 日(木)	●第 171 回 (令和元年度第 7 回) 定例講演会 「明治以降の水害および治水対策の変遷と極端水象 の将来予測」	立川 康人先生 (京都大学大学院工学研究科社会基盤 工学専攻 教授)
12 月 19 日(火)	●第 172 回 (令和元年度第 8 回) 定例講演会 「海底資源: 成因と探査」	木川 栄一先生 (国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋資源センター 企画調整統括)

○環境学習・教育事業 (子ども環境カレッジ)

●環境学習・教育事業 (環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等)

◎環境学習・教育事業 (身近な自然観察会支援)

◇環境保全に関する普及啓発事業

☆情報収集および情報提供事業